**市政トピックス**

**●「トランスイート四季島」のおもてなしに感謝状をいただきました**

　6月3日、JR東日本の豪華寝台列車「トランスイート四季島」の乗客へのおもてなしが特に優れていたとして、JR東日本仙台支社から感謝状をいただきました。

　市では、トランスイート四季島が鳴子温泉駅に立ち寄りを始めた平成29年から、実行委員会を立ち上げ、出迎えや見送り、地場産品の振る舞いなどを行ってきました。

　感謝状は「トランスイート四季島受け入れ大崎市実行委員会」に対するもので、市役所を訪れた、古津仙台支社営業部長からいただきました。

　古津営業部長から「毎回多くの関係者の皆さまに歓迎をいただき、市内各地域の特色を生かしたおもてなしに乗客も感激しています。おもてなしの取り組みは、ほかの地域でも行われていますが、組織化され取り組まれているのは大崎市が唯一です。今後も観光のリーダーシップをとっていただきたい」と感謝の気持ちが伝えられました。

　感謝状を受けた伊藤市長は「市内全地域をあげた取り組み。過分な評価をありがたく思います。今後も訪れる人たちをお迎えしたい」と話しました。

　本年度は、四季島の車両検査のため、12月に6回の立ち寄りが予定されています。

　皆さんも四季島の「お出迎え」「お見送り」でおもてなししてみませんか。

写真：感謝状を受ける伊藤市長（左）とJR東日本仙台支社古津営業部長

**●「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」アンバサダーに選ばれました！**

　「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村で地域活性化に取り組む優良事例を全国に発信するため、内閣官房と農林水産省が平成26年から開催しています。

　昨年10月には、本市の「大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム」（以下、ブランドコンソーシアム）が、高価格帯での『ささ結』の販売や「純米大吟醸酒ささ結」の販売、ササニシキ系食味コンテストの実施などが評価され、東北第1位で選定されています。

　6月7日、東京都内で「ディスカバー農山漁村（むら）の宝サミット」が行われ、全国のディスカバー選定事例や商品のPR活動を担う「アンバサダー」として、ブランドコンソーシアムの『ささ結』生産者 鈴木至さんが選ばれました。

　鈴木さんは、平成26年から選定された全国１４３地区の関係者から、「アンバサダー」に選ばれています。審査は、農業や商品に懸ける思いのPRや、インスタグラム（写真共有アプリケーション）に投稿したPR動画に対する「いいね！」の数などで行われ、全国から上位2人がアンバサダーとして発表されました。

　今後は、全国の若手農林水産業従事者の代表として、全国や世界へ、日本の農山漁村の魅力を発信する活動に従事します。

　市では世界農業遺産「大崎耕土」の地として、農業・林業に携わる若手就農者を今後も支援していきます。

写真：▲サミットで表彰を受けるアンバサダーの鈴木さん（写真右）

**●2019　6月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 2日 | ●2019大崎市鹿島台デリシャストマトまつり |
| 3日 | ●2018年度トランスイート四季島おもてなしに対する感謝状贈呈 |
| 4日 | ●大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム通常総会 |
| 7日 | ●ディスカバー農村漁村（むら）の宝サミット（東京都）●古川地域死亡事故ゼロ6カ月間達成感謝状贈呈式 |
| 13日 | ●令和元年第2回大崎市議会定例会開会（28日まで） |
| 15日 | ●おおさき食楽まつり2019（16日まで） |
| 17日 | ●田尻総合支所新庁舎棟上げを祝う会 |
| 23日 | ●大崎市江合川流域水防演習 |

写真：古川地域で6カ月無事故（6月7日時点）を達成し、古川警察署から感謝状が贈られました

**お・ら・ほ・の・ま・ち**

**FM83.5MHzから地域情報をお届け**

　6月15日、おおさきエフエムでオープントークが放送されました。放送は、古川七日町西地区の再開発事業に伴い、三本木庁舎1階へ放送局を移転したことを記念したものです。

　移転に当たっては、市民から「6年間お疲れさまでした。三本木に見に行ってもいいですか？」など多数のファクスが届いたそうです。

　おおさきエフエムは、地域のイベントや暮らしに役立つ情報、災害などの緊急情報などを日々放送しています。メーンパーソナリティの栗田さんは「誰でも参加でき、地域みんなで作る地域密着型のラジオにしていきたい」と話していました。

　新しくなったおおさきエフエム（FM83.5メガヘルツ）に、耳を傾けてみませんか。

写真：栗田さん（写真中央）と話すゲスト（写真右）。おおさきエフエムの雰囲気が気に入り、訪れたそうです

**世界に一つのお皿！何を乗せる？**

　6月15日、「親子陶芸教室」が鹿島台公民館で行われ、17人が参加しました。

　この日は、鹿島台地域で活動する「陶芸教室ひまわり」の皆さんを先生に、粘土から成形。アジサイ・キウイ・ウルイなどの葉っぱから模様を映した葉皿と、はし置き・ペンダントなどを型取りました。

　模様の映し方、粘土の厚みとくぼみ、皿の反り具合と、少しの作業で表情が変わる陶芸の世界には、こだわりがつきもの。大人も子どもも関係なく、個性を表現する時間に没頭していました。

　作品は、鹿島台公民館 創作館内の電気・ガス釜で焼き上げ、7月末にお披露目されます。参加者は「焼きおにぎりを乗せたい！」「目玉焼きは乗るかな？」と話していました。自分で作ったお皿で食べるご飯は、ひときわおいしく頂けそうです。完成が楽しみですね！

写真：丁寧に型取り、なめらかな　お皿を目指します

**ご当地グルメのおいしさ てんこ盛り！**

　6月15日・16日、「おおさき食楽まつり2019」が鳴子峡レストハウス前で開催され、山と海の幸を味わう人でにぎわいました。

　毎年、食楽まつりには、なる子ちゃんこ鍋、ブルーベリー、きのこ汁など鳴子温泉地域の名物や、石巻市や蔵王町から、普段は現地でしか味わえないご当地グルメが約50店舗も駆けつけます。一度にこれほど多くのグルメが味わえる食の祭典に、毎年多くの人が訪れます。

　今年はあいにくの天候となりましたが、来場者は両手いっぱいに県内のおいしいグルメを買占め、食べ歩きを楽しんでいました。

写真：温かい汁ものを提供する店に人気が集まりました

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと，親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり，おらほの隠れた名所，おらほのおいしい特産品，おらほの伝統のまつり，おらほのイベント・・・。

そんな，愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●ダブリン市と大崎の交流の輪**

　4月1日から7日、姉妹都市の米国ジョージア州ダブリン市から、13人の訪問団が市を訪れ、ホームステイや市内観光などで市民と交流を深めました。

　ダブリン市と旧三本木町は、平成10年に姉妹都市を締結して以来、互いに訪問し合い、交流が続いています。ダブリン市から訪れた学生は、「日本刀の見学では、刃が鋭く輝いていて、興味を持った。日本に家族ができたようで離れるのがさびしい。また来たい」と話していました。

**●大崎産食材で日本一のジェラート**

　千葉県で開催された「第4回ジェラートマエストロコンテスト」（日本ジェラート協会主催）で、大澤英里子さん（鳴子温泉地域）が見事優勝を果たしました。

　大澤さんは、鳴子温泉川渡地区とあ・ら・伊達な道の駅で野菜ジェラート専門店「なるこりん」を経営しています。店舗では、大崎産の野菜や岩出山の麹、鳴子の温泉水を使ったシロップなど、大崎の豊富な食材や資源を活用したジェラートが提供されています。

　今回の優勝作品は、大崎産の桃やルバーブ、第4のチョコレートとして話題の「ルビーチョコレート」を使い、母親の優しさと感謝の気持ちを表現したそうです。

　大澤さんは、「ジェラートを通して、大崎の魅力を発信していきたい」と話していました。

**●伝統400年 にぎわう古川八百屋市**　4月7日、春の伝統の風物詩、古川八百屋市が開幕しました。暖かな春の日差しの中、古川前田町の「烏堂熊野神社」は、日曜日ということもあり、初日から大勢の人でにぎわいました。

　境内には約20の出店が立ち並び、農産物、漬物、苗木などが販売されました。訪れた人たちは、じっくりと品物を見比べたり、出店者との会話を楽しみながら買い物をしていました。

　八百屋市は6月27日まで、一の位に3と7のつく日に開催されます。これから暖かくなる季節、散歩がてらや、友人、家族と一緒に出かけてみませんか。